



## 平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイパー

コード番号 3054 URL <http://www.hyperpc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 江守 裕樹 TEL 03-6855-8180

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	5,571	2.9	131	△39.0	130	△39.3	79	△39.4
27年12月期第1四半期	5,414	△30.3	214	△36.3	214	△36.0	130	△34.9

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 79百万円 (△39.8%) 27年12月期第1四半期 132百万円 (△34.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	18.62	17.95
27年12月期第1四半期	31.40	30.33

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第1四半期	7,207	2,374	32.0	552.34
27年12月期	6,027	2,367	38.3	541.30

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 2,308百万円 27年12月期 2,310百万円

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	16.00	—	18.00	34.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期 (予想)	—	9.0	—	9.0	18.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株に株式分割を行っております。平成27年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	11,000	10.8	200	△30.0	190	△32.1	110	△38.2	25.77
通期	21,000	12.2	320	△12.9	300	△17.0	180	△20.5	42.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期 1 Q	4,268,400株	27年12月期	4,268,400株
② 期末自己株式数	28年12月期 1 Q	88,188株	27年12月期	88株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期 1 Q	4,257,022株	27年12月期 1 Q	4,167,562株

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産は上向きつつあるものの、個人消費および設備投資ともに弱さが見られ、金融市場は円高・株安に振れるなど、国内景気は不安定な状態で推移いたしました。

当社グループが属するコンピュータ販売業界におきましては、Windows XPのサポート終了に伴う切り替え需要の反動減からの回復が遅れており、国内パソコンの出荷台数は前年割れが続きました。

このような状況の下、当社グループは強みである在庫戦略を推進し、価格優位性を活かした在庫商品の販売に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,571,569千円（前年同四半期比2.9%増）、経常利益は130,054千円（前年同四半期比39.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は79,252千円（前年同四半期比39.4%減）となりました。

各セグメント別の営業の概況は次のとおりであります。

## ① 情報機器販売事業

Windows XPのサポート終了に伴う切り替え需要の反動減から、法人向けコンピュータ市場においてもパソコンの出荷台数が前年割れする状況が続きました。他社との競争が激化する中、当社グループは独自の在庫販売戦略に注力するなど、売上の確保に努めてまいりました。その結果、売上高は3,941,028千円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益は99,681千円（前年同四半期比47.8%減）となりました。

## ② アスクルエージェント事業

既存取引先の稼働促進や新規取引の拡大が順調に推移し、売上高は1,630,540千円（前年同四半期比14.7%増）、営業利益は34,717千円（前年同四半期比44.7%増）となりました。

## ③ その他

新規事業として児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を開始する準備をしているため、売上高は計上されておりませんが、営業損失3,334千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、6,867,076千円（前連結会計年度末は5,717,342千円）となり、1,149,734千円増加いたしました。売掛金が増加したことが大きな要因であります。

## (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、340,662千円（前連結会計年度末は310,435千円）となり、30,226千円増加いたしました。無形固定資産および投資その他の資産が増加したことが大きな要因であります。

## (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、4,279,706千円（前連結会計年度末は3,104,959千円）となり、1,174,747千円増加いたしました。買掛金が増加したことが大きな要因であります。

## (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、553,034千円（前連結会計年度末は555,747千円）となり、2,712千円減少いたしました。長期借入金が増加したことが大きな要因であります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7,925千円増加し、2,374,997千円となりました。自己資本比率は38.3%から32.0%に減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月12日に「平成27年12月期 決算短信」で公表いたしました、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社みらくるを連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,199,894	2,344,966
受取手形及び売掛金	2,496,421	3,403,031
電子記録債権	168,868	193,878
商品	760,662	863,401
その他	95,991	67,932
貸倒引当金	△4,495	△6,133
流動資産合計	5,717,342	6,867,076
固定資産		
有形固定資産	45,352	48,932
無形固定資産	128,410	136,756
投資その他の資産		
投資有価証券	33,377	43,688
その他	177,498	185,395
貸倒引当金	△74,202	△74,110
投資その他の資産合計	136,673	154,974
固定資産合計	310,435	340,662
資産合計	6,027,777	7,207,739
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,124,991	3,413,572
短期借入金	300,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	450,684	418,168
未払法人税等	32,274	46,319
賞与引当金	46,851	26,989
その他	150,157	174,657
流動負債合計	3,104,959	4,279,706
固定負債		
長期借入金	539,173	536,396
その他	16,574	16,638
固定負債合計	555,747	553,034
負債合計	3,660,706	4,832,741

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,981	297,981
資本剰余金	270,980	270,980
利益剰余金	1,740,056	1,780,894
自己株式	△46	△42,701
株主資本合計	2,308,972	2,307,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,474	1,728
その他の包括利益累計額合計	1,474	1,728
新株予約権	56,624	66,113
純資産合計	2,367,071	2,374,997
負債純資産合計	6,027,777	7,207,739

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	5,414,878	5,571,569
売上原価	4,644,882	4,849,059
売上総利益	769,996	722,509
販売費及び一般管理費	555,103	591,445
営業利益	214,892	131,064
営業外収益		
受取利息	327	367
広告料収入	600	300
その他	1,218	778
営業外収益合計	2,145	1,445
営業外費用		
支払利息	2,679	2,448
その他	12	6
営業外費用合計	2,691	2,455
経常利益	214,347	130,054
税金等調整前四半期純利益	214,347	130,054
法人税、住民税及び事業税	74,511	43,627
法人税等調整額	8,959	7,174
法人税等合計	83,470	50,801
四半期純利益	130,876	79,252
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,876	79,252

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日）
四半期純利益	130,876	79,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,165	253
その他の包括利益合計	1,165	253
四半期包括利益	132,041	79,505
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,041	79,505

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年2月23日開催の取締役会決議により、自己株式を88,100株取得いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が42,654千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式が42,701千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年1月1日至平成27年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	情報機器販 売事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,993,303	1,421,574	5,414,878	-	5,414,878	-	5,414,878
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,993,303	1,421,574	5,414,878	-	5,414,878	-	5,414,878
セグメント利益	190,892	24,000	214,892	-	214,892	-	214,892

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報のれんについては、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	情報機器販 売事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,941,028	1,630,540	5,571,569	-	5,571,569	-	5,571,569
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,941,028	1,630,540	5,571,569	-	5,571,569	-	5,571,569
セグメント利益	99,681	34,717	134,398	△3,334	131,064	-	131,064

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業等を含んでおります。